

第4分野 香り高い地域文化と心豊かな人を育むまち

基本方針4

生涯学習の充実を図り地域を担う人材育成の機会を広げます

事業年度	令和4年度
責任部長	教育次長
責任課長	社会教育課長
責任課	社会教育課
主管課・関係課	社会教育課、学校教育課

■施策の概要

施策1: 公民館活動の充実

【主管課:教育委員会事務局 社会教育課】

地域住民が生涯学び続けるための機会と地域住民が集う場の提供を目的として、公民館講座の実施や各種イベントを開催するとともに、サークル活動を支援します。また、それぞれの地区公民館が地域の自然や文化、人材を活用した特色ある活動や交流を進め、地域の活性化を図るとともに、地域コミュニティづくりを支援します。

施策2: 生涯学習の拡充

【主管課:教育委員会事務局 社会教育課】

少子高齢化、人々のライフスタイルや価値観が多様化する社会において、子どもから大人まで、その発達段階やニーズに応じた学習機会の充実が必要です。そのため、関係機関と連携し様々な生涯学習の場を提供するとともに、市民による自主的な学習活動の支援、講師などの人材発掘を行います。また、学ぶことを通じて深めた知識や高めた技能を地域づくりに活かします。

施策3: 読書活動の推進

【主管課:教育委員会事務局 社会教育課】

生活を切り拓く力を育むための「主体的・対話的で深い学び」を目指して、家庭や学校等との連携により、「家読(うちどく)」を中心として子どもの読書活動の活性化を図ります。また、7館が連携したきめ細やかなサービスにより、市民が読書に親しみ図書に触れることのできる機会の充実を図ります。

■関連指標の動向

指標名	単位	管理 種別	望ましい 方向	関連 施策	現状値	各年度の実績値(下段)					評価年度 の達成率
					(R1)	R3	R4	R5	R6	R7	
▶ 公民館活動の参加者数	人	ストック	↗	施策1	27,621	28,400 12,395	28,800 20,170	29,200	29,600	30,000	70.0%
▶ 生涯学習講座の参加者数	人	ストック	↗	施策2	4,047	4,100 2,657	4,200 3,536	4,300	4,400	4,500	84.2%
▶ 「読書が好き」という中学生の割合 (子どもの読書環境アンケート)	%	フロー	↗	施策3	69.5	70.0 70.5	70.0 74.3	70.0	71.0	71.0	106.1%
▶											
▶											

■決算データ及び構成事務事業の実施状況

施策名		R3決算額(千円)	R4決算額(千円)	構成事務事業の実施状況(R4)					
				a	b	c	d	-	小計
1	公民館活動の充実	90,849	60,959	0	4	0	0	0	4
2	生涯学習の拡充	5,658	6,354	0	2	0	0	0	2
3	読書活動の推進	13,037	13,059	0	2	0	0	0	2
4									
小計		109,544	80,372	0	8	0	0	0	8

- a: 順調に実施されており、成果が表れている事務事業
b: 概ね順調に実施されており、一定の成果が表れている事務事業
c: 概ね順調に実施されているものの、目指す成果が表れていない事務事業
d: 実施状況及び目指す成果ともに停滞している事務事業

■基本方針に係る総括評価（所見）	【責任部長：教育次長】
市民の学びの場、集いの場の提供として、公民館等でのイベントや生涯学習講座、読書活動を推進しており、コロナ禍の影響を受けつつも事業を進めることができた。今後も創意工夫をしながら、学ぶ機会の提供を進める必要がある。	

■施策ごとの評価

施策1：公民館活動の充実		【主管課：教育委員会事務局 社会教育課】
評価	B	目指す姿に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。
▶後期基本計画策定時の「現状と課題」		◎後期基本計画策定時の「目指す姿」
少子化や高齢化により、公民館活動への参加者の減少や固定化が進行する中で、より多くの地域住民が参加できる場づくりとして、地域の特色を活かした幅広い取り組みや活動を行う必要があります。		より多くの市民が公民館活動を理解し、気軽に集い、学びの場として自ら活動に参加しています。
I.施策の取組効果や達成状況に関する分析(関連する事務事業の成果や積み残されている課題など)		
【成果】		
・コロナ禍の影響を受けつつも、活動を再開することにより、地域の集いの場と生涯学習の機会の提供としてイベント及び講座を行い、生きがいづくりや地域の特性を活かした内容で実施できた。		
【課題】		
・少子高齢化により、各地域では担い手不足が深刻化しており、若い世代の地域活動への参加、担い手の育成が必要となっており、今後も公民館活動の活性化のため、公民館関係者がより多くの市民の参加を促す工夫を行う。		
II.今後の方向性と具体的な展開		
・公民館関係者相互の情報交換や研修会を行うなど、体制の強化に努める。		
・公民館長会及び社会教育委員定例会(＝公民館運営審議会)において市内学校の統廃合を見据えて、また、地域学校協働活動の展開も合わせて今後のあり方について研究を進める。		

施策2:生涯学習の拡充		【主管課:教育委員会事務局 社会教育課】
評価	B	目指す姿に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。
▶後期基本計画策定時の「現状と課題」	◎後期基本計画策定時の「目指す姿」	
生涯学習講座等への受講者が固定化しつつあり、また、世代によるニーズが多様化していることから、幅広い年代を対象とする講座の開催が求められています。	学びの場に参加する市民が増え、学んだことや経験を生かすことで担い手が育成され、地域社会に参画し貢献しています。	
Ⅰ.施策の取組効果や達成状況に関する分析(関連する事務事業の成果や積み残されている課題など)		
【成果】		
・新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、市民の学習の場として、生涯学習講座や郡上学地域講座、市民アイデア講座を実施しており、特に市民アイデア講座は、自らが持つ知識や技術を活かせる場として定着してきている。		
【課題】		
・生涯学習社会の推進を図るため、多くの市民のアイデアやニーズを取り入れながら、若い世代や新規受講者を集めていくために、情報誌配布以外の周知方法の検討や講座内容の工夫が必要である。		
Ⅱ.今後の方向性と具体的な展開		
・幅広い年代が受講しやすい講座内容となるように、公民館等と内容を検討していく。		
・講座の周知や申込などにオンラインを活用する方法を検討していく。		

施策3:読書活動の推進		【主管課:教育委員会事務局 社会教育課】	
評価		B	
目指す姿に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。			
▶後期基本計画策定時の「現状と課題」		◎後期基本計画策定時の「目指す姿」	
中高生の読書離れや図書館利用者の偏りを防ぐため、7館相互の連携及び園・学校との連携と、家読(うちどく)の取り組みをさらに推進する必要があります。		各家庭に「家読」の習慣が根付き始めることによって、中高生の読書離れに歯止めがかかるとともに、青年層や壮年層の図書館の利用が増えています。	
I.施策の取組効果や達成状況に関する分析(関連する事務事業の成果や積み残されている課題など)			
【成果】 ・学校司書や学校への支援を継続的に行うことで、子どもの読書を支えている。 ・ブックスタートは164人に実施、0歳児が本に興味を示すことを親に認識してもらえた。 ・冊子「本とともだち」(年齢別で7種類)を2,058冊配布した。冊子掲載の本を子どもの読書週間に展示し、家読を周知するよう努めている。			
【課題】 ・市内図書館職員の意識改革を行い、全館で統一されてきている。統一されたサービスの周知に課題がある。 ・スマートフォンの広がりによって読書離れが進み、貸出数の減少が懸念される。 ・読書アンケートによると、ブックスタート(3・4ヶ月検診)後、就園(3歳)までの3年間、絵本に接することが少ない乳幼児がいる。			
II.今後の方向性と具体的な展開			
・毎月の連絡会を継続して行い、本館・分館・分室で均一なサービスを提供する。 ・年代によって利用に差がある。図書館の活用法を広くPRし、利用者層を拡大するよう努める。 ・就園までの期間に図書館を利用してもらえるように、ブックスタートで呼びかける。 ・年齢が上がるにつれ読書量が減っているため、家族みんなで読書をする、家読(うちどく)の推進につとめる。 ・中学生の読書の促進のため、中学校と連携しリーフレットを有効活用する。			
■後期基本計画策定後新たに生じた課題等			
・ ・			
■関連する個別計画の有無			
有	第2次郡上市教育大綱、郡上市教育振興基本計画(第3期)、郡上市子ども読書活動推進計画(第3次)		